

出羽桜酒造

12都市に専用ラベル・小瓶投入 出荷先拡大

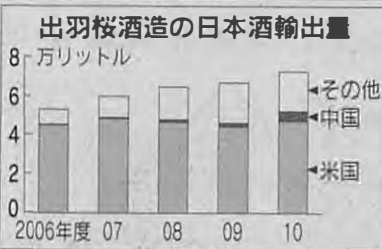
中国輸出を本格化

山形を代表する蔵元の一つ、出羽桜酒造(山形県天童市、仲野益美社長)は中国への日本酒輸出を本格化する。主要4都市に限られていた出荷先を昨秋以降、12都市に拡大。中国専用ラベルや包装のほか、小容量商品や高級酒を投入するなど現地の需要にきめ細かく対応する。人口規模や経済発展をにらみ、将来は米国と並ぶ最大級の輸出市場に育てる。

対中輸出は2005年市だったが、天津や深圳、上海、大連、広州の4都市に広がる。10年度の出荷量は前年度の2.5倍の約5160リットルに達する。



国内用「桜花吟醸酒」(左)と中国向け「密輸品対策もありラベルのデザインをガラリと変えた」



見込み。5年で45倍という急成長で、韓国や英国を抜き、米国・香港に次ぐ輸出先になった。中国向け独自戦略も練る。国内向けの「桜花吟醸酒」や「誠醸辛口」をそのまま輸出していたが、昨年末から商品ラベルを中国向けに変更した。

手ごねな値段で試飲に飲んでもたいという需要に配慮しようと小瓶サイズも投入する。これまではほとんどが720ミリ瓶での輸出だが、新たに300ミリと180ミリ瓶を準備。今月9日に第1便を出荷する予定。

中国では経済発展に伴って富裕層が急速に拡大

2月の山形県内初の倒産「ゼロ」

民間調査 本来なら2月は資金需要の高まる年度末に向けて倒産の懸念が高まる時期だけに異例。同社では「中小企業金融円滑化法」などの金融支援策の効果ではないかと分析。「本格的な景気回復がなければ、単なる延命にとどまっていた企業にとって今後、厳しい状況も予想される」と見ている。

製造工場の新設計画再開

アイシン高丘 来年4月にも稼働

トヨタ自動車系の部品大手のアイシン精機のグループ会社、アイシン高丘(愛知県豊田市)は宮城大衡村の製造工場の新設計画を再開する。今月下旬にも着工、来年4月にも本格稼働する。一月にも稼働した機械加工工場、大衡村で1月に完成

アイシン高丘は、トヨタ自動車系部品大手のアイシン精機のグループ会社。アイシン高丘は、トヨタ自動車系部品大手のアイシン精機のグループ会社。アイシン高丘は、トヨタ自動車系部品大手のアイシン精機のグループ会社。

宮城・大衡村

仙台に建築資材店

東北初、業者向けに3万点 トステムは8日、仙台市に建設事業者向けの建築資材店「建デポプロ仙台」を開業する。材

岐路の東北

第9部 大学大競争

東北に「知」を集めて地域の競争力を高めるために、大学と地域は何をすべきか。先進的な取り組みをする2大学の学長に聞いた。

開学以来、グローバル社会に必要な人材の育成を掲げてきた。「ベルリンの壁が崩壊した。この20年で世界のポスターレス化が急速に進んだ。この間、日本の大学教育は国際社会への対応に大きく後れをとり

地域産業へ貢献が役割

山形大学長 結城 章夫氏



大は「地域に根差し、世界を自指す」をスローガに掲げている。この分業的の伸ばす。その一つが有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)だ。有機ELははじめ産業連携に積極的だ。「100年の歴史を持つ工学部(米沢市)は東北大学に並ぶ大戦力。織る。城戸淳二教授が最先端を走り、技術的には優位にある。事業化

「知の鎖国化」打破狙う

国際教養大学長 中嶋 嶺雄氏



国際教養大は秋田市を中心部から離れており、周辺には娯楽施設等がほとんどなく、豊かな自然景観に恵まれている。学生は勉強せざるを得ず、この上ない環境だ。芸術や祭りなど幅広く授業を取り上げ、良い刺激になった。立命館アジアカリフォルニア大学と交換留学を始めた。今後は教員や職員も含め、他の大学と相互交流を深めていきたい。

「大学で最も大切なのは教養教育だと考える。国内では入試の時点を専攻別に細分化され、結果として世界から取り残された。専門教育は大学院や企業に入ってからで十分だ。平等教育よりも

東北

